

開幕近づく 万博大特集

夢洲夕景シリーズ FINAL
〜再びさきしまコスモタワーより〜

開幕へ急ピッチ

夢洲が、万博が、躍動し始めた。

さきしまコスモタワーを高層階まで上がると、夢洲と万博会場が一望できる。

万博を含む観光ヤード(西側)と物流ヤード(東側)に分けられる夢洲。西側ゾーンの万博会場建設は急ピッチで進んでいる。

万博のシンボル、大屋根リングは幅30m、高さ20m、1周2kmにおよぶ円環状の建物だ。

会期中、来場者は世界最大級の木造建築といわれるリングの上階を、周回で歩くこともできる。

直径約640mの円環の中には外国や国際機関のパビリオンが建ち並ぶ。

日本館やEXPOホール、迎賓館、国内民間企業パビリオンなどはリングの外側に建築の予定だ。

会場北東側に隣接する大阪メトロ中央線新駅「夢洲駅」は2025年1月に開業予定で、会場アクセスの主要拠点となる。

2018年11月に大阪・関西万博の誘致が決定以来、しびるは一貫して万博を応援しつつ、

2020年からは夢洲の夕景をシリーズで紹介してきた。

4月13日の開幕まであと数カ月、

どんな姿を私たちに見せてくれるのだろうか、楽しみでならない。

万博のシンボル 大屋根リングは1周2kmに及ぶ。



万博会場配置図
(資料提供：2025年日本国際博覧会協会)



2024年8月撮影

●巻頭対談／近畿の未来
まずは来て、観て、体感して欲しい
東川直正氏 × 毛利聡子氏

●建設DX最先端

「インフラDX」で工事が進む淀川大堰開門事業

「大屋根リング」の工期を「竹中新生産システム」で大幅短縮

●レポート・最前線

万博に向けた交通インフラ整備NOW

●淀川左岸線(2期)

●北港テクノポート線

●会場周辺道路

●万博会場への交通アクセスについてNEWS

●偉人たちの歴史街道

70年大阪万博 会場の基本計画を手掛けた 丹下健三

●未来へのとら

「建築エンジニア」想像以上に楽しい万博の現場!

土木エンジニア人とICTの力を集結し、万博開催へ! 有馬 龍さん

●Ch@ Walker

海・港と共に歩む 国際港湾都市 舞鶴

●ランドマーク

「循環」のちのつながり」を

展示と建築で体験するパビリオン 日本館

●トピックス

・出石と但馬空港をつなぐ約2kmが開通、豊岡道路(兵庫県)

・自動車専用道路、新宮紀宝道路が今秋開通予定(和歌山県・三重県)